

情報科学研究科博士後期課程学位論文審査要領

I. 申請者の要件

学位の授与を申請できる者は次の各号の一に該当するものとする。

1. 本学の情報科学研究科博士後期課程に3年以上在学し、必要な研究指導を受け、かつ所定の単位を修得する見込みの者。
2. 本学の情報科学研究科博士後期課程に1年以上在学し、必要な研究指導を受け、かつ所定の単位を修得する見込みの者で、本学の情報科学研究科教授会が認めた者。ただし、本学あるいは他大学の大学院博士前期課程を1年で修了した者は、2年以上の在学期間を必要とする。
3. 大学の教育課程において専門知識を担うことができる能力を有すると本学の情報科学研究科教授会が認めた者。

II. 博士の水準

博士の学位は専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を有する者に授与するものとする。

III. 学位論文の提出要件

審査の対象となる学位論文は、次の各号の要件を満たすものとする。

1. 第1著者であり、主題に関する査読付き学術論文1編以上が公刊（受理通知も含む）されているものとする。
2. 学位論文は上記の原著論文（以降、参考論文と記す）の主題に即して体系的に論述されたものであることを要する。

IV. 学位論文の使用言語

学位論文の使用言語は英語または日本語とする。ただし、審査が可能な場合には、英語または日本語以外の言語の使用も認めることができる。

V. 学位論文の様式等

学位論文は、原則として、下記の様式とする。

1. 用紙サイズはA4、縦向きに設定する。
2. 印刷時の余白は、上、下、左、右とも25mmとする。
3. 文字の大きさは12ポイントとする。

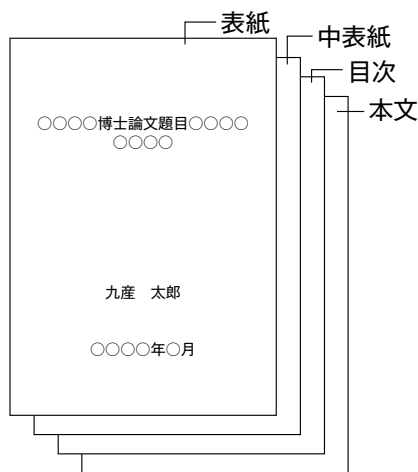


図1. 学位論文の様式

VI. 論文要旨の様式

1. 用紙サイズはA4、縦向きに設定する。
2. 印刷時の余白は、上、下、左、右とも25mmとする。
3. 論文要旨の記入例に従って作成すること。
4. 論文要旨は和文または英文とする。
5. 論文要旨の文字数は和文の場合、2,000字程度とする。
6. 文字の大きさは12ポイントとする。

図2. 論文要旨の様式

VII. 論文目録の様式

論文目録は原則として図3に示す様式で作成のこと。

図3. 論文目録の様式

VIII. 審査手続き

学位申請者は学位論文に関し事前審査を受けなければならない。事前審査結果が研究科教授会で承認された場合に本審査を申請することが出来る。

IX. 提出書類

研究指導教員を經由して、下記を提出のこと。

1. 事前審査用書類

- (1) 主論文：3部
- (2) 論文要旨：3部
- (3) 論文目録：3部
- (4) 参考論文：3部
- (5) 履歴書：3通

2. 本審査用書類

事前審査において本審査への申請を承認された場合は下記を提出のこと。主論文は製本されたものであること。

- (1) 学位申請願：1通
- (2) 主論文：3部
- (3) 論文要旨：3部
- (4) 論文目録：3部
- (5) 参考論文：3部
- (6) 履歴書：3通

X. 事前審査申請時期

事前審査申請時期は、博士論文審査申請時期前の研究科教授会開催日の2カ月1週間以上前とする。

XI. 本審査申請時期

審査申請時期は5月及び1月とする。

XII. 審査基準

審査にあたっては、次の各号を主要な審査項目として総合的に審査するものとする。

1. 研究の独創性
2. 研究の位置づけの明確さ
3. 論旨の明確さ
4. 内容の正確さ
5. 文章の正確さ及び平易さ
6. 文献調査の十分さ

XIII. 学位論文の公開

1. 学位論文の審査期間中、審査対象論文を縦覧に供するものとする。
2. 学位論文の審査前又は審査期間中に、公聴会等、公開の討議を行うものとする。